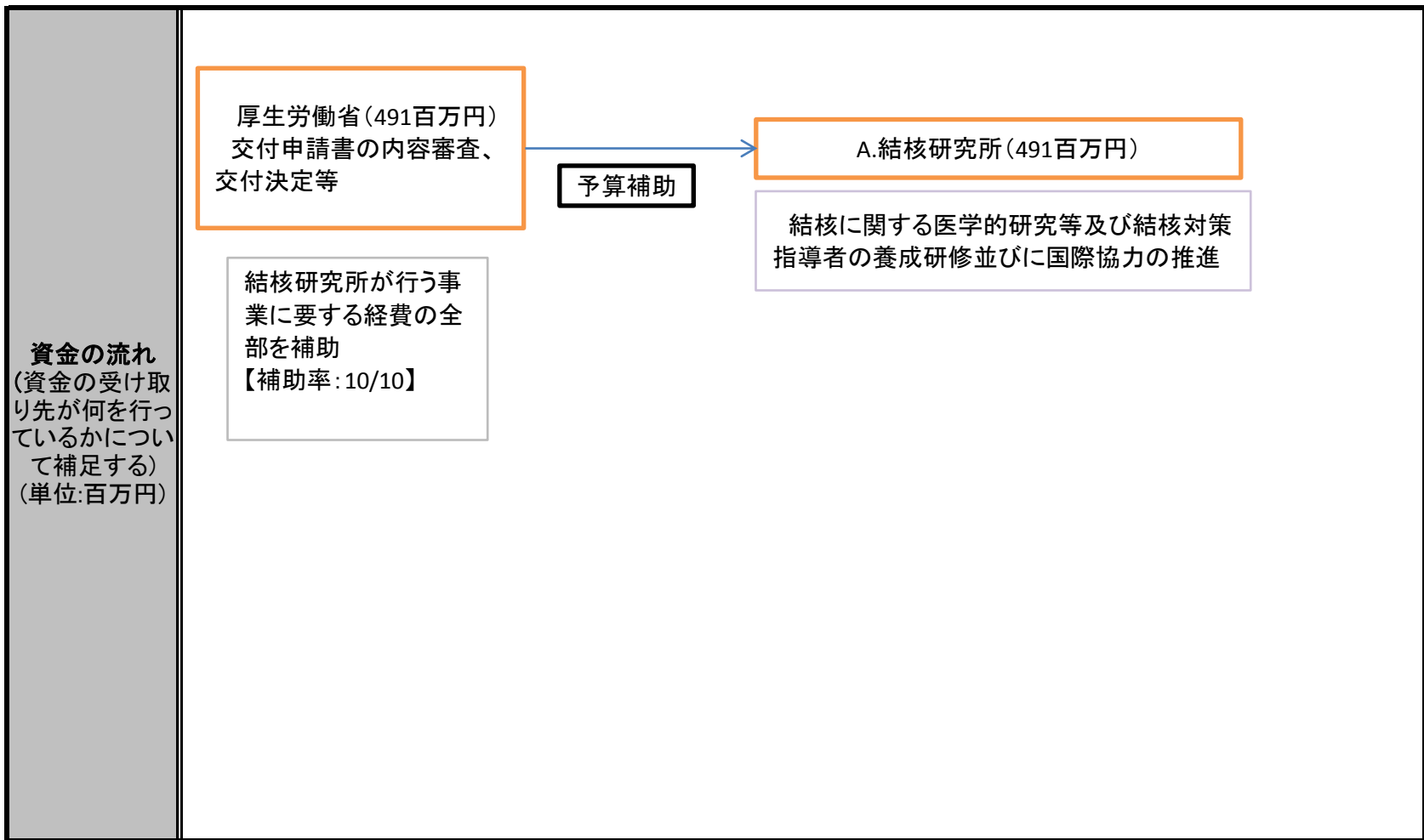


行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	結核研究所補助	事業開始年度	昭和14年度	作成責任者		
担当部局庁	健康局	担当課室	結核感染症課	結核感染症課 亀井 美登里		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	(財)結核予防会(結核研究所)が行う結核に関する医学的研究等及び結核対策指導者の養成研修並びに国際協力の推進に要する経費を補助することにより、結核予防事業の向上を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	① 結核研究所の人件費 ② 結核研究所運営事業費(光熱水料、施設管理の業務委託等) ③ 研究費(結核対策のための研究(基礎、臨床、疫学等)) ④ 研修費(結核対策に従事している医師等を対象とした研修) ⑤ 結核登録者情報提供事業費(全国の結核患者に関する情報を収集・分析) ⑥ 国際協力推進費 ・国際結核情報センター事業費 ・在日外国人医療相談事業費 ・国際共同研究事業費 ・派遣専門家研修等事業費 等 【補助率】10/10					
実施状況	平成21年度に結核研究所が行う結核に関する研究開発等に要する費用(4つの研究テーマの研究、年3回の結核対策指導者養成研修の開催等)について、補助を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	491	491	481	473	473
	執行額	491	491	481		
	執行率	100.0	100.0	100.0		
	総事業費(執行ベース)	491	491	481		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	支出先・用途の把握については、事業完了後提出される事業実績報告により把握。				
	見直しの余地	平成22年度予算において、国際協力費の削減等により、対前年度98%(▲8,098千円)の規模に見直しを図ったところ。 なお、結核研究所は我が国唯一の結核専門の研究機関であり、結核に関するWHO協力センターにも指定されている。我が国の結核対策を一層推進するためには、引き続き、補助を行っていく必要がある。				
予算監視の効率化	結核研究所は我が国唯一の結核専門の研究機関として必要な事業であり、予算の執行の観点からも概ね妥当であるが、引き続き適切な予算の執行に努めること。					
補記	結核研究所は、昭和14年に設立された(財)結核予防会(現総裁:秋篠宮妃殿下)の基幹施設であり、我が国唯一の結核専門の研究機関である。					



費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロック  
 ごとに最大の  
 金額が支出さ  
 れている者  
 について記載す  
 る。使途と費目  
 の双方で実情  
 が分かるよう  
 に記載)

A.(財)結核予防会結核研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	結核研究所職員に要する経費	360			
運営事業費	結核研究所の運営に要する経費	45			
事業費	世界の結核情報の収集分析等事業に要する経費	37			
事業費	結核対策に関する国際協力体制の強化に要する経費	23			
研究費	結核対策の推進に資するための研究	16			
研修費	結核対策指導者の養成研修を行う事業	3			
事業費	結核に関する情報の収集、解析及び分析結果の提供等を行う事業	6			
計		491	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0